

病院だより



病院の理念

1. 患者本位の医療を行います。
2. 良質な医療を行います。
3. 行政サービスという自覚を持った医療を行います。

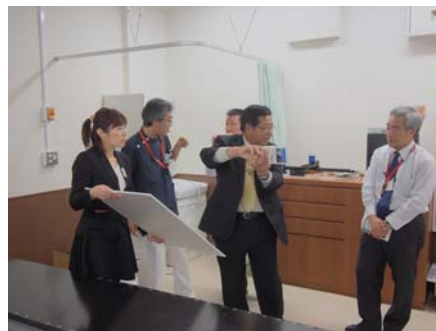
〒418-0076 静岡県富士宮市錦町 3 番 1 号

TEL : 0544-27-3151 FAX : 0544-23-7232

e-mail:h-kanri@city.fujinomiya.shizuoka.jp

<http://fujinomiya.cococala.net/html/index.html>

放射線治療装置 TomoTherapy を導入しました



最新型の放射線治療装置 TomoTherapy の外観（写真左）装置の説明を受ける須藤市長（写真中央）市民の皆様向けの見学会も開催しました（写真右）

富士宮市立病院では、静岡県内では初となる最新型の放射線治療装置 TomoTherapy(トモセラピー)を導入しました。この装置は、CT スキャナーと放射線治療装置を一体化し、コンピューターの制御により照射を行います。360°の全方向から腫瘍の形状にあわせて、放射線を照射することができるため、従来の放射線治療と比較して、重要な臓器への影響は格段に少なくなり、さらに高い治療効果が期待できます。トモセラピーを使った治療の対象疾患は、前立腺がん・脳腫瘍・頭頸部がん・がんの骨転移など、様々な悪性腫瘍や一部の良性腫瘍で有効性が認められています。治療の流れは、診察、治療計画の作成、入念な確認作業の後、治療開始、治療継続と定期的な診察、予定回数の照射の後、治療終了となります。1回の治療時間は、20分程度で終了し、放射線照射による痛みはまったくありません。通院での治療が可能ですので、日常生活を送りながら治療していただけます。費用に関しては、通常のがん治療と同様に医療保険が適用になります。詳細につきましては、病院へお問い合わせください。

診察開始に先立ち、須藤市長が TomoTherapy の視察に訪れました。放射線治療の流れや、装置の詳しい説明を受け、最新医療機器を積極的に導入していく熱意を語られました。また、市民の皆様へ向けての見学会も行いました。46名が参加し、医療スタッフから装置の概要や、治療の流れ、さらに、普段は入ることのできない操作室等を見学し、多数の質問も寄せられました。今後も、当院では最新の医療を提供できるよう、医療機器の導入を進めてまいります。

目次

○放射線治療装置 TomoTherapy の導入について

○ODMAT の発足について

○新規職員採用研修

○お知らせ

災害派遣医療チーム（DMAT）発足



東京都立川市で行われた DMAT 研修に参加した当院職員 5 名。医師 2 名・看護師 2 名・放射線技師 1 名が参加した（左写真）。個人防護具や携行品の装着を行う職員。携行品は、非常食や飲料水、ヘルメット、雨具、懐中電灯から各種医療器材まで多岐にわたる（右写真）。

DMAT（Disaster Medical Assistance Team）とは、災害や事故現場にいち早く出動し、災害の急性期（おおむね 48 時間以内）に医療を提供する専門のトレーニングを受けた医療チームです。災害時における DMAT の活動として、1. 被災地域内での医療情報収集と伝達。2. 被災地域内でのトリアージ、応急治療、搬送。3. 被災地域内の医療機関、災害拠点病院の支援。4. 広域搬送拠点臨時医療施設における医療支援等があげられます。大規模災害となった阪神・淡路大震災では、医療救護が最大限行われてきましたが、初動と急性期に、死に瀕する方への救命が十分とはいえず、防ぎえた災害死の存在という現実と直面しました。この教訓から、災害発生急性期に活動し、消防・警察や他の医療チームとの連携や、災害に関する専門的な知識・トレーニングを積んだ DMAT が各地で編成されるようになりました。平成 26 年 3 月に、当院職員 5 名（医師・看護師・放射線技師）が 4 日間にわたるトレーニングを受けました。災害時に身につける個人防護具の装着や、通信機材の使用法、医療装備品の確認から、DMAT に必要な知識等様々な研修が行われました。今後も当院では、災害拠点病院としての機能を十分に発揮できるよう、DMAT 隊員を増やして参ります。

新規採用職員研修を行いました



新規採用職員研修風景（左写真）。注射器の適切な使用方法の確認（写真中央）。手洗いの結果、洗い残しが蛍光緑色に光っている（右写真）。

平成 26 年度は、医師 13 名・看護師（助産師）13 名・診療技術（薬剤師・臨床検査技師・診療放射線技師・言語聴覚士・臨床工学技士・視能訓練士）8 名の計 34 名を採用しました。新規採用職員は、辞令交付の後、早速それぞれの部署で研修を行いました。看護部の研修では、病院の運営システムや、注射器の使用法、手洗いの仕方等の基礎的な看護技術の指導を行いました。手洗いの実践では、実際に洗い残しを特殊な機材で確認し、手洗いの重要性を再確認しました。

お知らせ

●次回、市民健康講座の開催について

第 75 回「足白癬と爪白癬について」開催日：平成 26 年 7 月 11 日（金）

講師：皮膚科 森 達吉 先生

※場所は南棟 4 階会議室、時間は 19:00～20:30 です